

# プレスリリース

2026年4月15日  
日鉄ソリューションズ株式会社  
Qsol 株式会社  
株式会社 QTnet

## 日鉄ソリューションズと Qsol・QTnet、九州の企業・自治体向けに Oracle Alloy を活用したマネージド・クラウドサービス「absonne」を展開 ～九電グループを核に地域 DX を加速～

日鉄ソリューションズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：玉置 和彦、以下「NSSOL」）、九電グループの Qsol 株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：廣渡 健、以下「Qsol」）、株式会社 QTnet（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：小倉 良夫、以下「QTnet」）は、Oracle Alloy（※1）を活用したマネージド・クラウドサービス「absonne（アブソヌ）」の九州地域における運用・販売について、戦略的な協業を開始しました。本協業により、九州地域の企業・自治体を中心に、データ主権を確保しつつ、高度なセキュリティと先進技術を兼ね備えたクラウド基盤を提供します。九州発のハイパースケールコンピューティング環境を地域に根差した運用体制で提供することで、九州地域の DX 推進を支援します。



### 九州地域の産業集積とソブリンクラウドへの期待

近年、九州では半導体・製造業を中心とした産業集積が進み、工場データの高度活用やサプライチェーン連携、BCP 対策などを目的とした、セキュアかつ信頼性の高い IT インフラの需要が拡大しています。また、データの国外移転リスクやガバナンス強化の高まりを受け、自社のデータを国内で厳格に管理できるソブリンクラウドへの関心が急速に高まっています。

こうした背景を受け、電力・製鉄分野で長年にわたり大規模な IT 運用・管理を担ってきた NSSOL と Qsol、さらに通信ネットワークやデータセンターサービスを提供している QTnet が協業し、先進技術と地域密着の運用体制を兼ね備えたマネージド・クラウドサービスを九州地域で展開します。

### 協業概要と提供体制

本協業では、各社の強みを活かし、Oracle Alloy を活用した「absonne」を九州地域向けに提供します。absonne および関連サービスは、以下の役割分担で提供されます。

- NSSOL
  - エンタープライズ向けクラウド設計、エンジニアリング・運用知見提供
  - IT 運用の標準化・自動化を推進する運用サービス「emerald」や、サイバー攻撃対策「NSSIRIUS」などのオプションサービスの提供

- Qsol
  - 九州地域に根差した営業活動及び IT エンジニアリング・運用サービス提供
  - 九電グループで培った高い信頼性を基にした IT インフラ構築及び運用監視ソリューションの提供
- QTnet
  - JDCC 最高ランク相当の信頼性を備えた「QTnet データセンター」の提供と運用
  - 自社光ファイバー網による低遅延・高セキュリティなネットワーク接続環境を構築
  - 九州全域の企業・自治体向けに「Oracle Alloy」を活用した「absonne」および関連サービスの営業活動

こうした協業体制により、運用・管理を九州で完結できるクラウド基盤を構築し、地域特性に最適化したサービスを実現します。また、地域企業の競争力強化や高度 IT 人材の育成・定着を通じて、九州地域の地方創生および地域経済の活性化にも貢献します。

## absonne (アブソンヌ) について

NSSOL が展開する「absonne」は、エンタープライズ向けに高い信頼性と運用品質を備えたマネージド・クラウドサービスです。2026 年度下期には次期プラットフォームの提供開始を予定しています。次期プラットフォームでは、日本企業のデータ主権要件に対応し、運用・管理を日本国内で完結できるソブリンクラウド環境として、「Oracle Alloy」を採用します。「Oracle Cloud Infrastructure (OCI)」が提供する「Oracle AI Database」をはじめとする 200 以上のクラウドおよび AI サービスを活用し、NSSOL が強みとする運用サービス「emerald (エメラルド)」(※2)、サイバー攻撃対策「NSSIRIUS (エヌエスシリウス)」(※3)、コンサルティングサービス「xSource (クロスソース)」(※4) などの各種ソリューションを Oracle Alloy 環境に最適化した形で、オプションメニューとして提供予定です。

## 各社コメント

### 日鉄ソリューションズ株式会社 代表取締役社長 玉置 和彦

「当社は九州発祥である日本製鉄グループの IT 企業として、地域産業の発展とともに歩んでまいりました。本協業ではハイパースケーラーの先進技術と国内主体によるソブリンクラウドの運営を両立し、最適化された IT 基盤サービスの展開を加速します。東京に加えて、成長を続ける九州地域において、企業・自治体のデータ主権確保、セキュリティ強化、AI 活用を強く支え DX を推進し、ビジネスの持続的発展に貢献してまいります。」

### Qsol 株式会社 代表取締役社長 廣渡 健

「本協業は、各社が有する技術力と豊富な実績を融合し、お客様の DX 推進をより確かな価値として提供する取り組みです。Qsol は、九電グループで培った高い信頼性と運用ノウハウを、ならびに地域に根差した支援体制を強みに、日鉄ソリューションズ様・QTnet 様と一体となって、九州の企業・自治体が直面する IT 課題の解決に取り組んでまいります。今後も、持続可能な社会の実現に貢献する IT サービスを提供してまいります。」

## 株式会社 QTnet 代表取締役社長 小倉 良夫

「産業が活気づく九州において、JDCC「ティア4」相当の極めて堅牢なQTnetデータセンターと高品質なネットワークを基盤としたソブリンクラウドの提供は大きな意義があります。当社は、安心・安全なITインフラを地域のお客さまにお届けすることで、九州のDX加速とさらなる発展に貢献してまいります。」

## エンドースメント

### 九州電力株式会社 執行役員 テクニカルソリューション統括本部

#### 情報通信本部長 本田 健一 氏

「九電グループは、エネルギーの安定供給に加え、デジタル技術を活用した地域社会の持続的な発展への貢献を重要な使命と位置づけており、Oracle Alloy を活用したマネージド・クラウドサービスが九州地域に展開されることを、大変心強く感じております。九州で完結する運用体制を通じて、地域に根差したDXを力強く推進するとともに、今後も信頼性の高い社会インフラと先進的なデジタル基盤の提供により、九州地域の産業競争力強化と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。」

### 日本オラクル株式会社 常務執行役員 アライアンス統括 佐野 守計 氏

「日本オラクルは、本協業による国内で運用・管理されるソブリンクラウドの取り組みを歓迎いたします。Oracle Alloy を基盤に、各社の知見や付加価値を組み合わせることで、データ主権要件に対応しつつ高度なクラウド活用を実現するこの取り組みは、地域DXの推進において重要な意義を持つものです。さらに、エンタープライズAIやエージェント型AIの活用により、この『ご当地クラウド』が九州から新たな価値創出を広げていくことを期待しています。」

以上

(※1) Oracle Alloy : オラクルのパートナーがクラウドサービス・プロバイダーとしてサービスを提供できる包括的なクラウドインフラストラクチャ・プラットフォームです。

(※2) emerald : <https://www.itis.nssol.nipponsteel.com/it-sourcing/solution/emerald/>

(※3) NSSIRIUS : <https://www.itis.nssol.nipponsteel.com/dwp/solution/nssirius/>

(※4) xSource : <https://www.itis.nssol.nipponsteel.com/it-sourcing/solution/xsource/>

・NS Solutions、NSSOL、NS (ロゴ)、absonne、NSSIRIUS、xSource\クロスソースは、日鉄ソリューションズ株式会社の登録商標です。

・Oracle、Java、MySQL及びNetSuiteは、Oracle Corporation、その子会社及び関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。NetSuiteは、クラウド・コンピューティングの新時代を切り開いたクラウド・カンパニーです。

・本文中の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です